

電気設備工事特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所

2. 建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	消防法施行令別表 第一の用途区分	備考
糞処理施設	膜構造	1階				

3. 工事種目（☒印のついたものを適用する。）

工事種目	建物別及び 屋外	工事種別	屋外	備考
☒ 電灯設備	1式			
☒ 動力設備	1式			
☐ 電熱設備				
☐ 雷保護設備				
☒ 受変電設備	1式			
☐ 電力貯蔵設備				
☐ 発電設備				
☐ 構内情報通信網設備				
☐ 構内交換設備				
☐ 情報表示設備				
☐ 映像・音響設備				
☐ 拡声設備				
☐ 誘導支援設備				
☐ テレビ共同受信設備				
☐ 監視カメラ設備				
☐ 駐車場管制設備				
☐ 防犯・入退室管理設備				
☐ 自動火災報知設備				
☐ 中央監視制御設備				
☐ 構内配電線路				外灯設備を含む
☐ 構内通信線路				
☐ テレビ電波障害防除				
☐ その他工事	別紙仕様書による			

4. 指定部分 ※なし ☐あり（工期：平成 年 月 日）

5. 概成工期 ※なし ☐あり（工期：平成 年 月 日）（対象部分： ）

II. 仕様書の適用

1. 標準仕様

特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成28年版）」（以下「標準仕様書」という。）による。

2. 各工事において、他の工事（建築工事、機械設備工事など）と関連のある事項は、それぞれの特記仕様書および標準仕様書による。

3. 非公共工事における、特記仕様書および標準仕様書に記載された用語の取り扱い。

(1)用語「監督職員」は、「監理者」と読み替える。

(2)用語「承諾」は、「工事請負契約約款」の「承認」と同義語とする。

4. 請負業者が、特記仕様書および標準仕様書の定めにより、監督職員の承諾を受けるために提出した書面（施工図など）の取り扱い。

(1) 監督職員は、受領印を押して返却する。

(2) 受領後1週間以内に、監督職員が書面による異議の申立てを行わない場合は、承諾されたものとして当該工事を施工することができる。

III. 特記仕様

1. 項目は、番号に☒印の付いたものを適用する。（☐印は適用外）

2. 特記事項の選択項目は、☒印の付いたものを適用する。（☐印は適用外）

☒印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

☒印と※印の付いた場合は、共に適用する。

章	項 目	特 記 事 項
一般共通事項①	☒ 1. 適用基準等	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の下記基準等を適用する。 ☒ 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成28年版） ☐ 建築物解体工事共通仕様書（平成24年版） ☒ 建築工事標準詳細図（電気設備工事編）（平成28年版） ☒ 営繕工事写真撮影要領（平成28年版）
	☒ 2. 一般事項	1) 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。（1.1.8）（1.1.9） 2) 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合は、監督職員に報告の上、協議し、指示に従うこと。 3) 施工体制台帳及び施工体系図を作成し、施工体系図は現場に掲示すること。なお、作成したものの写しを監督職員に提出すること。（1.1.5）
	☒ 3. 届出手続き	工事の着手、施工及び完成に当り、官公署その他関係機関への必要な諸届出手続き等は監督職員と協議の上、請負者が遅滞なく行う。なお、当該手続きに係る費用は請負者の負担とする。（1.1.3）
	☐ 4. 工事実績情報（CORINS）の登録	※適用しない（1.1.4） ☐ 適用する（請負精算額が500万円以上の場合） 受注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後及び工事完成後の10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。
	☒ 5. 別契約の関連工事	別契約の施工上密接に関連する工事について、監督職員の調整に協力し、当該工事関係者と共に、工事全体の円滑な進捗をはかること。（1.1.7） 別契約の関連工事は、別図「設計概要」による。
	☒ 6. 実施工程表、施工計画書、施工図等	1) 工事の着手に先立ち、実施工程表を作成し、監督職員の承諾を受ける。又、その補正として、週間・月間工程表を作成し監督職員に提出する。（1.2.1） 2) 工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し、監督職員に提出する。（1.2.2） 3) 工事の施工に先立ち、工種別施工要領書及び施工図等を作成し、監督職員の承諾を受ける。（1.2.3）
	☒ 7. 工事の記録	標準仕様書（1.2.4）による工事の記録等を遅滞なく整備する。（1.2.4）

■ 8. 電気保安技術者

■ 9. 事故報告

■ 10. 発生材の処理等

■ 11. 機材等

■ 12. 機材の品質・性能証明

■ 13. 足場類

■ 14. 監督職員事務所

■ 15. 工事表示板

■ 16. 工事用電力・水ほか

■ 17. 工事用の仮設物

■ 18. 工事用通路

■ 19. 埋戻し土・盛土

■ 20. 残土処理

■ 21. 耐震施工

■ 22. 耐風施工

■ 23. 保温及び結露防止

■ 24. 電線類

■ 25. 合成樹脂製可とう管

■適用する ☐適用しない（1.3.2）

災害及び事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報し、速やかに事故報告書を作成して監督職員に提出する。（1.3.7）

（1.3.9）
1) 建設リサイクル法の規定に基づく通知義務等の該当 ☒なし☐あり（ ）
2) プラス回収破壊法の規定に基づく措置の該当 ☒なし☐あり（ ）
3) 引渡しを要するもの ※なし ☐あり（ ）
4) 廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令を遵守し、場外搬出の上、適切に処分する
■特別管理産業廃棄物 ※なし ☐あり（☐PCB使用機器）
☐再生资源化を図るもの

種 類	受 入 施 設 名	所 在 地 (km)	備 考																													
■セメントコンクリート塊																																
■アスファルトコンクリート塊																																
■建設発生木材																																
■建設汚泥																																
☐ 現場において再利用を図るもの（ ）																																
☐ その他の廃棄物（安定型）（ ）																																
受入れ施設名・所在地 (km)																																
☐ その他の廃棄物（管理型）（ ）																																
受入れ施設名・所在地 (km)																																
P C B を含有する機器等については、飛散、流出がないように適切な容器に納めて適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員を通じて保管事業者に引き渡す。																																
本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの、またはこれらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。（1.4.2）																																
本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。（1.4.1）																																
使用する材料のホルムアルデヒド仕様は、日本工業規格及び日本農林規格のF☆☆☆☆規格品、壁装材料協会規格適合品または同等品、化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。																																
本工事着手に前主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し、監督職員の承諾を受ける。また、設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は外部機関等が発行する資料等の写しを監督職員に提出して、承諾を受ける。なお、標準仕様書に規定される製作図、試験成績表を含む。（1.4.2）																																
☐ 別契約の関係請負者が設置したものは、無償で利用できる。（4.1.1）																																
☐ 本工事で設置する。 なお、枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月改訂）によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。																																
※設けない（請負者事務所に打合せ会議室を確保する）（2.1.1）																																
☐ 設ける（規模 ㎡程度 請負者事務所と同様 ☐ 可 ☐ 否）																																
※設置する（設置枚数 1枚） ☐ 設置しない（2.1.1）																																
本工事に必要な工事用電力、水などの費用は、引渡しまでの間、すべて請負者の負担とする。（2.1.1）																																
電力：構内既存の施設 ☐ 利用できる（※有償 ☐ 無償）※利用できない水：構内既存の施設 ☐ 利用できる（※有償 ☐ 無償）※利用できない																																
構内につくることが ※できる ☐ できない（2.1.1）																																
※指定しない ☐ 指定する（図示）																																
図面に特記のない場合は下記によるほか標準仕様書第2編による。ただし、各工事種目で別に指定されたものは除く。（2.2.1） ☐ 根切り土の中の良質土（ただしヒューム管以外の管の周囲は山砂の類） ☐ 山砂の類																																
※構内指示の場所に敷均し ☒ 構内指示の場所に堆積 ☐ 場外搬出(2.2.1)																																
機器、配管等は耐震を考慮して堅固に据付け、取付け又は支持を行う。耐震措置の計算及び施工方法は、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版（国交省国土技術政策総合研究所、（独）建築研究所監修）」による。工事の施工に先立ち、耐震支持計算書を作成し、監督職員の承諾を受ける。																																
<table><tr><th colspan="5">設計用標準水平震度〔Ks〕</th></tr><tr><th rowspan="2">設置場所</th><th colspan="2">標準水平震度</th><th colspan="2">特定の施設</th></tr><tr><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr><tr><td>上層階、屋上及び塔屋</td><td>2.0 (2.0)</td><td>1.5 (2.0)</td><td>1.5 (2.0)</td><td>1.0 (1.5)</td></tr><tr><td>中層階</td><td>1.5 (1.5)</td><td>1.0 (1.5)</td><td>1.0 (1.5)</td><td>0.6 (1.0)</td></tr><tr><td>1階及び地下層階</td><td>1.0 (1.0)</td><td>0.6 (1.0)</td><td>0.6 (1.0)</td><td>0.4 (0.6)</td></tr></table> （ ）内は、防振支持機器の設計用標準水平震度を示す。 (1) 施設分類： ☐ 特定の施設 ☐ 一般の施設 (2) 地域係数： ※ 1.0 ☐ 建基法告示1793号による ☐ (3) 重要機器： 次の機器とする。 ☐ 配電盤 ☐ 発電装置 ☐ UPS装置 ☐ 直流電源装置 ☐ 交換機 ☐ 受信機(自立型) ☐ 中央監視装置 ☐ 情報通信ラック 注) 重量 100kg以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても、耐震を考慮して据付等を行うものとするが、前記指針の方法によらずともよい。 対象機器は風圧を考慮して堅固に取付け又は支持を行う。 設計風速： ※ 6 0 m/sec 対象機器： ☐ 雷保護設備受雷部 ☐ 照明ポール、基礎 ☐ テレビ共同受信装置アンテナ、アンテナマスト	設計用標準水平震度〔Ks〕					設置場所	標準水平震度		特定の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)	中層階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)	1階及び地下層階	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)			
設計用標準水平震度〔Ks〕																																
設置場所	標準水平震度		特定の施設																													
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																												
上層階、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)																												
中層階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)																												
1階及び地下層階	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)																												
外部に面する壁、天井でF P 板（スタイロホーム等）打込み箇所に取り付ける位置ボックスなどは、保温、結露防止処理を行う。																																
原則としてEMケーブルを使用する。 なお、標準仕様書第6編 通信情報設備工事 第1章 機材 第1節 電線類等 1.1.1 電線類等 表1.1.1電線類に次の種類を追加する。（EM－MEES） 合成樹脂製可とう管はP F 管（一重管）とし、温度による分類はタイプ25とする。																																

■ 26. 二種金属製可とう管

■ 27. 電線本数、管路など

■ 28. インサート

■ 29. 呼び線

■ 30. フラッシュプレート

■ 31. フロアプレート・ベース

■ 32. ハンドホール蓋

■ 33. 支持金物・固定金物

■ 34. あと施工アンカー

■ 35. 接地極の種類、表示等

■ 36. 総合調整

■ 37. 塗装工事

■ 38. 機器取付け高さ

■ 39. 他工事との取り合い

■ 40. 火災保険等

■ 41. 完成図書

露出箇所 ☐ビニル被覆あり ☐ビニル被覆なし
いんべい箇所 ☐ビニル被覆あり ☐ビニル被覆なし
屋外箇所 ※ビニル被覆あり
分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。

鋼鉄製とする。なお、床版で保温板打込み部分は、断熱材用インサート（亜鉛めっき製品）を使用する。

長さ1m以上の通線しない電線管には、1. 2mm以上のビニル被覆鉄線を通線する。

図面に特記なき場合は、
（※金属製（ステンレス、新金属も含む）☐樹脂製）とする。

※水平高低調節付（空転防止リング付） ☐銅合金製 ☐アルミ合金製

チェーン（ステンレス製）付のものとする。

屋外の機器及び配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製とし、屋外機器のアンカーボルトのナットには、ナットキャップ（樹脂製）を取付ける。また、振動をともなう機器の支持金物のナットはダブルナットとする。

施工方法 ☒接着系（※有機系 ☐接着剤）
☐金属拡振系（※本体打込式 ☐）
性能・施工確認 ☐行わない ☐行う
施工記録 ※使用アンカーの規格寸法及び施工状況を写真記録する。

図面に特記なき場合、接地極は下表による。
なお、E B の長さは 1,500mm とする。
ただし、D=10 は 1,000mm、W=30 は 1,200mm とする。
装柱機器及び屋外灯用接地極の埋設標は不要とする。

接 地 の 種 別	記 号	接地抵抗値	接地極の規格、数量
☐ 雷保護設備用接地	E L A	Ω 以下	E B × 2
☐ 雷保護設備用接地	E L A	Ω 以下	E B (D=14又はW=40) × 連－組
☐ 共同接地	E A, E D, E L H	10 Ω 以下	E B (D=14又はW=40) × 3連－2組
☐ 共同接地	E A, E C, E D	10 Ω 以下	E B (D=14又はW=40) × 3連－2組
☒ A種	E A	10 Ω 以下	E B (D=14又はW=40) × 3連－2組
☒ B種	E B	Ω 以下	E B (D=14又はW=40) × 2
☒ C種	E C	10 Ω 以下	E B (D=14又はW=40) × 3連－2組
☒ D種	E D	100 Ω 以下	E B (D=14又はW=40) × 1
☐			
☐ 構内交換機(陽極)用	E t	Ω 以下	E B (D=14又はW=40) × 3連－組
☐ 本配線盤の保安装置	E A t	10 Ω 以下	E B (D=14又はW=40) × 3連－2組
☐ 電話引込口の保安器	E D t	100 Ω 以下	E B (D=14又はW=40) × 1
☐ 拡声増幅器	E D a	100 Ω 以下	E B (D=14又はW=40) × 1
☐ 防犯装置用	E S	Ω 以下	E B (D=14又はW=40) × 3連－組
☐			
☒ 測定用	E o	—	E B (D=10又はW=30) × 1
☐ 避雷器用 (低圧用)	E L L	10 Ω 以下	E B (D=14又はW=40) × 3連－2組
☐ 避雷器用 (高圧用)	E L H	10 Ω 以下	E B (D=14又はW=40) × 3連－2組
☐ 避雷器用 (モデム用)	E M D	100 Ω 以下	E B (D=14又はW=40) × 1
☐ 構造体接地			建築構造体利用(通信用も含む)

各機器の個別運転後に総合調整を行い、報告書を提出すること。
☒受変電設備 ☐発電設備 ☒照明装置 ☐構内交換設備

下記部位に使用する外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。
※屋外 ※居室 ☐

表1「機器取り付け高さ」による。

図面に特記なき場合は、工事区分表による。

☐工事的物及び工事材料等について、次により保険に付す。
保険の種類： ※火災保険 ※建設工事保険
保険期間： ※工事着手から工事的物引き渡しまで
☐系統建設工事総合補償制度相当の保険に加入する。

表2「完成図書」により作成し、提出する。

表1「機器取付高さ」
図面に特記なき場合は下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員と協議する。

電 力 設 備			通 信 設 備		
			名 称	測 点	取付高 (mm)
電力 共通	取引用計器	地上～窓中心	約 1,800	引込線留め高	地上～引込点
	引込開閉器	地上～中心	1,800	集合保安箱	天井下～上端
	分電盤	地上～中心 上端	～2,200	端子盤(廊下、室内)	床下～上端
			1,500	「（E P S など）」	床下～中心
電 灯	スイッチ（一般）	床上～中心 (和室)	1,300	壁付アクトレツト（一般）	床上～中心
			1,200	「（和室）」	床上～中心
	コンセント（一般）	床上～中心	300	「 子時計」	床上～中心
	「（和室）」	床上～中心	150～200	「 スピーカ	床上～中心
	「（台上）」	床上～中心	100	壁付アッテネータ	床上～中心
	「（ファン用）」	床上～下端	7ﾌﾝﾄﾞ下	壁付ｲﾝﾀｰﾎﾞﾙ（一般）	床上～中心
	「（厨房）」	床上～中心	800	「（身体障害者用）」	床上～中心
	「（車庫）」	床上～中心	～1,000	壁付ｱｸﾄﾚｯﾄ（一般）	床上～中心
	「（機械室）」	床上～中心	1,300	壁付ｱｸﾄﾚｯﾄ（和室）	床上～中心
	「（土間）」	床上～中心	500	機器収納箱	天井下～下端
動 力			～1,000	直列ユニット（一般）	床上～中心
ブラケット（一般）	床上～中心	800	「（和室）」	床上～中心	
		～1,300	表示盤	床上～中心	
「（踊場）」	床上～中心	2,100	壁付発信機	床上～中心	
		～2,300	ベル、ブザー、チャイム	床上～中心	
「（鏡上）」	鏡上端～中心	2,000	壁付押ボタン（一般）	床上～中心	
		～2,500	「（身体障害者玄関）」	床上～中心	
避難口誘導灯	床上～下端	150			
廊下通路誘導灯	床上～下端	1,500以上			
壁掛型制御盤	床上～中心 上端	1,000以下			
		身 体 障 害 者 用			1,500
開閉器箱	床上～中心	2,000以下			
力電磁開閉器用ボタン	床上～中心	1,500	副受信機	床上～中心	
非常ボタン（便所用）	床上～中心	1,300	機器収納箱	床上～中心	
		900			
壁付ｲﾝﾀｰﾎﾞﾙ（親機）	床上～中心	800	発信機	床上～中心	
「（玄関子機）」	床上～中心	1,100	ベル	床上～中心	
廊下表示灯	床上～中心	1,300	表示灯	床上～中心	
（復旧ボタン付）			ベル	床上～中心	
身障表示ランプ	床上～中心	1,500	液化石油ガス用検知器	床上～上端	
表2「完成書類」	スイッチ	床上～中心	1,100	都市ガス用検知器(軽質)	天井下～上端
				都市ガス用検知器(重質)	床上～上端
工事完成時には、下表の書類に目録を添付し、監督職員に提出する。 ☒ 印つきの装丁及びその右欄の部数を適用する。（1.7.1）					
名 称	装丁・書類・内容	部数	名 称	装丁・書類・内容	部数
1. 完成図	☒ A 4版黒表紙金文字折製本	1部	7. 工事写真	注) 撮影内容は、着工前に撮影計画書を監督職員に提出し、承諾を受ける。	
	☒ 二つ折製本	1部	①施工写真	☒ A 4版バインドファイル L版、カラー写真	1部
	原因サイズの二つ折		②完成写真	☒ フリーアルバム等	1部
	☐ 縮小版二つ折製本	2部		六切りカラー写真	
	A 3版の二つ折		8. 工事に関する承諾・確認書等	☒ A 4版バインドファイル	1部
	☐ 原因（レージングバー）	1組		1) 施工計画書	
	二つ折ケース収納			2) 施工要領書	
	☒ 電子データ（CAD、PDF）	2枚		3) 確認書・承諾書	
	電子媒体：CD-ROM			4) 打合せ議事録	
	CADデータのファイル形式：JWW又はDXF形式			6) 工事週報又は日報	
2. 施工図	☒ 二つ折製本	1部		7) 施工体制台帳、施工体系図の写し	
	原因サイズの二つ折			8) 安全確保関係書類	
	☐ 原因			9) 廃棄物管理票の写し	
	二つ折ケース収納				
3. 機器完成図	☐ A 4版黒表紙金文字製本	1部	9. 品質管理	☒ A 4版バインドファイル	1部
	☒ A 4版バインドファイル		①機器・材料の品質証明書	1) 品質証明書	
4. 取扱説明書（日常管理用）	☒ A 4版バインドファイル	1部	2) 検査、試験報告書	2) 検査、試験報告書	
	☐ A 4版ペーパーファイル		3) 試験成績書等	3) 工場検査報告書	
	1) 建築物等の利用説明書		4) 工場立入検査報告書	4) 工場立入検査報告書	
	2) 機器別取扱い説明書				
5. 保全関係資料	☒ A 4版バインドファイル	1部	②現場における試験報告書、施工報告書等	1) 工事別試験報告書	
	1) 工事概要書		2) 工事別施工報告書	2) 工事別施工報告書	
	2) 建築物等の利用説明書		3) 完成検査報告書	3) 完成検査報告書	
	3) 機器別取扱い説明書		10. その他	監督職員の指示による書類	
	4) 緊急連絡先一覧表		①主要資材検収簿、納品書(写)	☒ A 4版バインドファイル	1部
	5) 官公署届出書類				
	6) 主要材料、機器一覧表				
6. 各種保証書	☒ A 4版バインドファイル	1部			

今福設備設計

福岡県福岡市早良区原3-6-5-702

TEL 092-776-1190

FAX 092-776-1190

一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-61618号

承認

一級建築士登録 第344237号

設計

今福 雄一

構造

製図

工事名 (株)ポーランド 糞処理施設新築工事

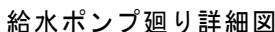
図名 電気設備工事特記仕様書（1／2）

S I Z E A 1

NO. E-001

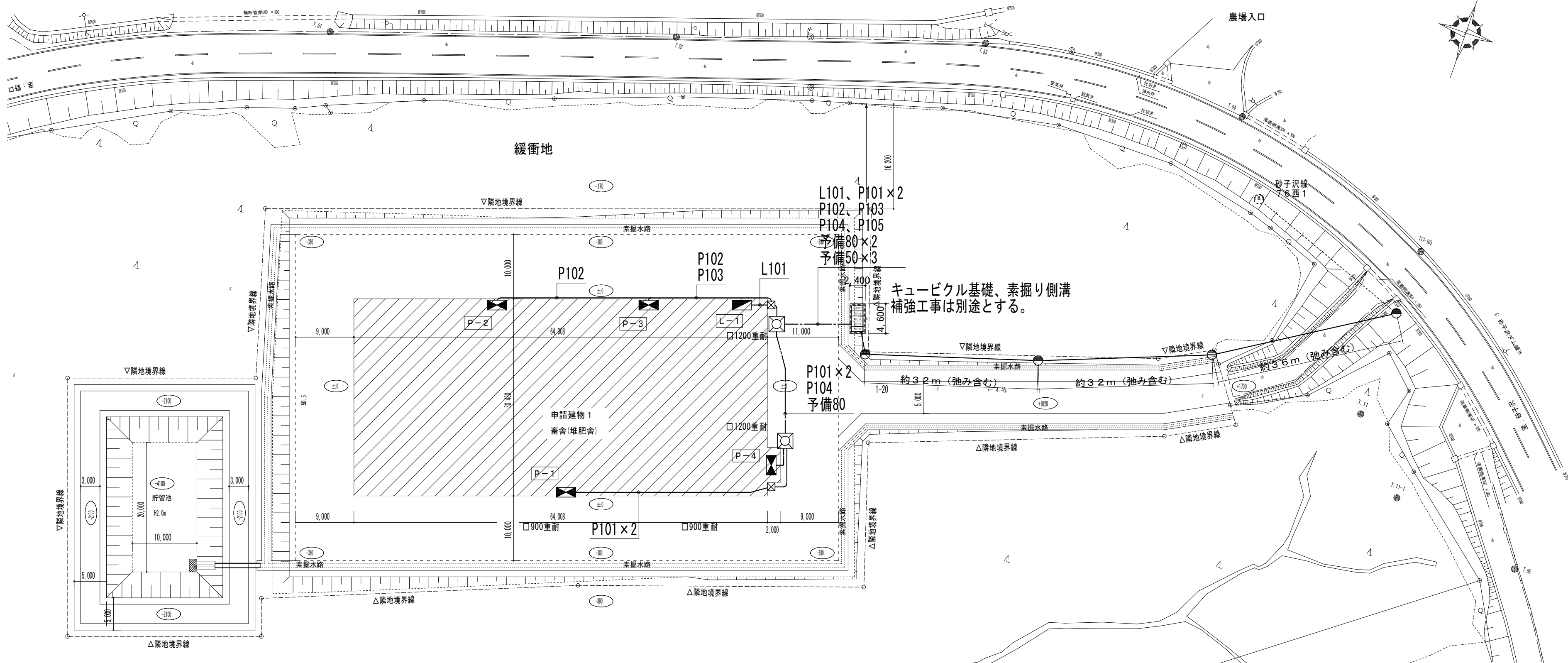
SCALE NS

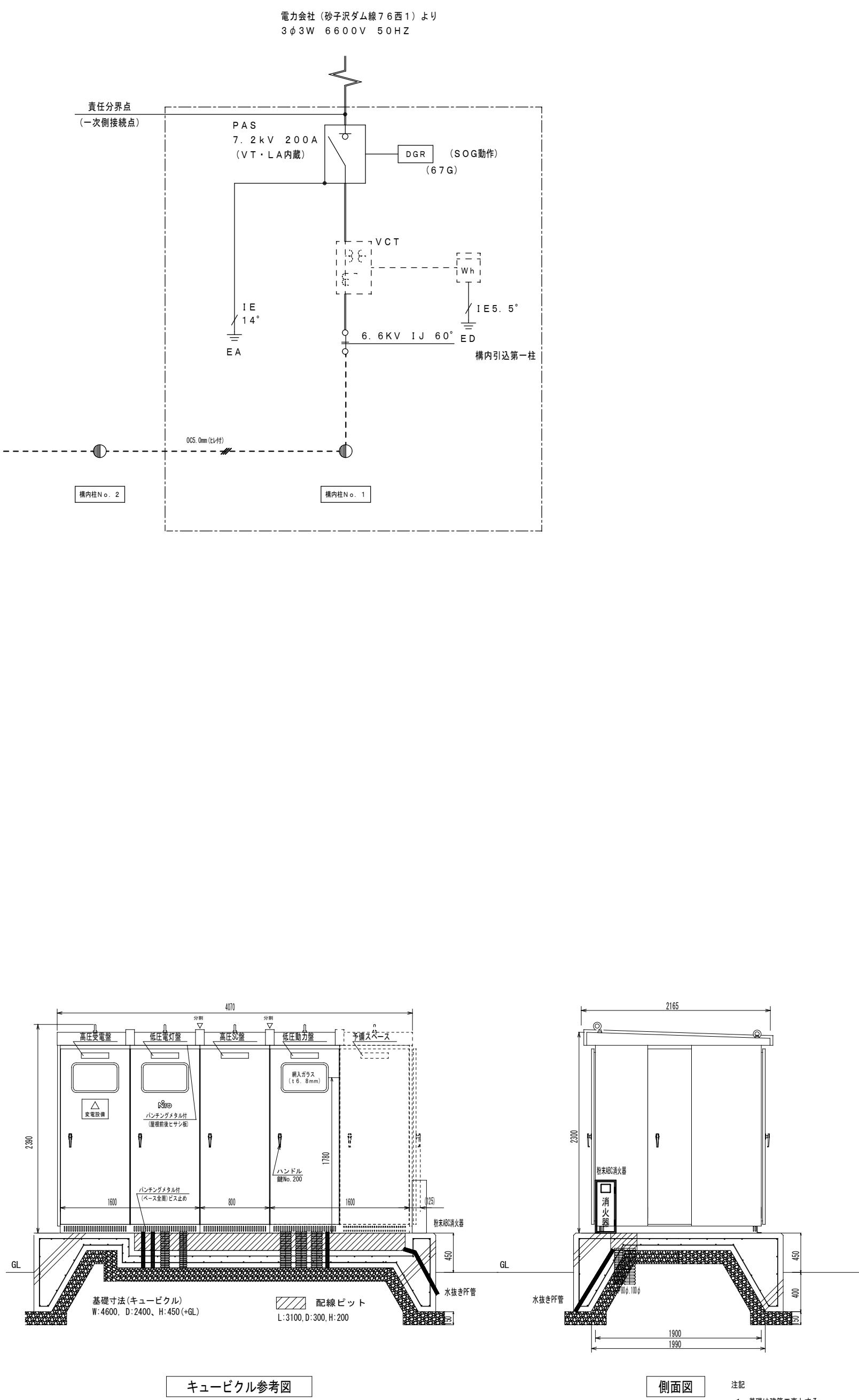
DATE 2025. 6



低圧動力盤						
NO	負荷名称	容量 (kW)	MCCB P AF/AT	電線サイズ	露出隠蔽保護管	埋設部保護管
P101	P-1	103.2	3P 600/600	CVT150" x 2 E38" x 2	HIVE70	FEP80 x 2
P102	P-2	67.85	3P 400/350	CVT200" E22" x 2	VU100	FEP100
P103	P-3	23.07	3P 225/225	CVT150" E14" x 2	HIVE70	FEP80
P104	P-4	6.0	3P 100/100	CVT 38" E8" x 2	HIVE54	FEP50
P105	予 備	— — —	3P 225/225		HIVE54	FEP80
P106	予 備	— — —	3P 100/100		HIVE54	FEP50

計画概要	
地名地番	秋田県鹿角郡小坂町小坂字台作1-16、1-20
都市計画区域	都市計画区域外
用途・防火地域	指定なし
主要用途	畜舎（堆肥舎）
工事種別	新築
敷地面積	7,443.25㎡
建築面積	1,961.96㎡
延床面積	1,961.96㎡
建蔽率	$(1,961.96 / 7,443.25) \times 100 = 26.36\%$
容積率	$(1,961.96 / 7,443.25) \times 100 = 26.36\%$





	今福設備設計 福岡県福岡市早良区原3-6-5-702 TEL 092-776-1190 FAX 092-776-1190	一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1ー61618号	承認	構造	工事名 (株)ポーランド 糞処理施設新築工事	SIZE A 2	NO E-004
		一級建築士登録 第344237号	設計	製図		図名 単線結線図	SCALE N. S.
		今福 雄一					

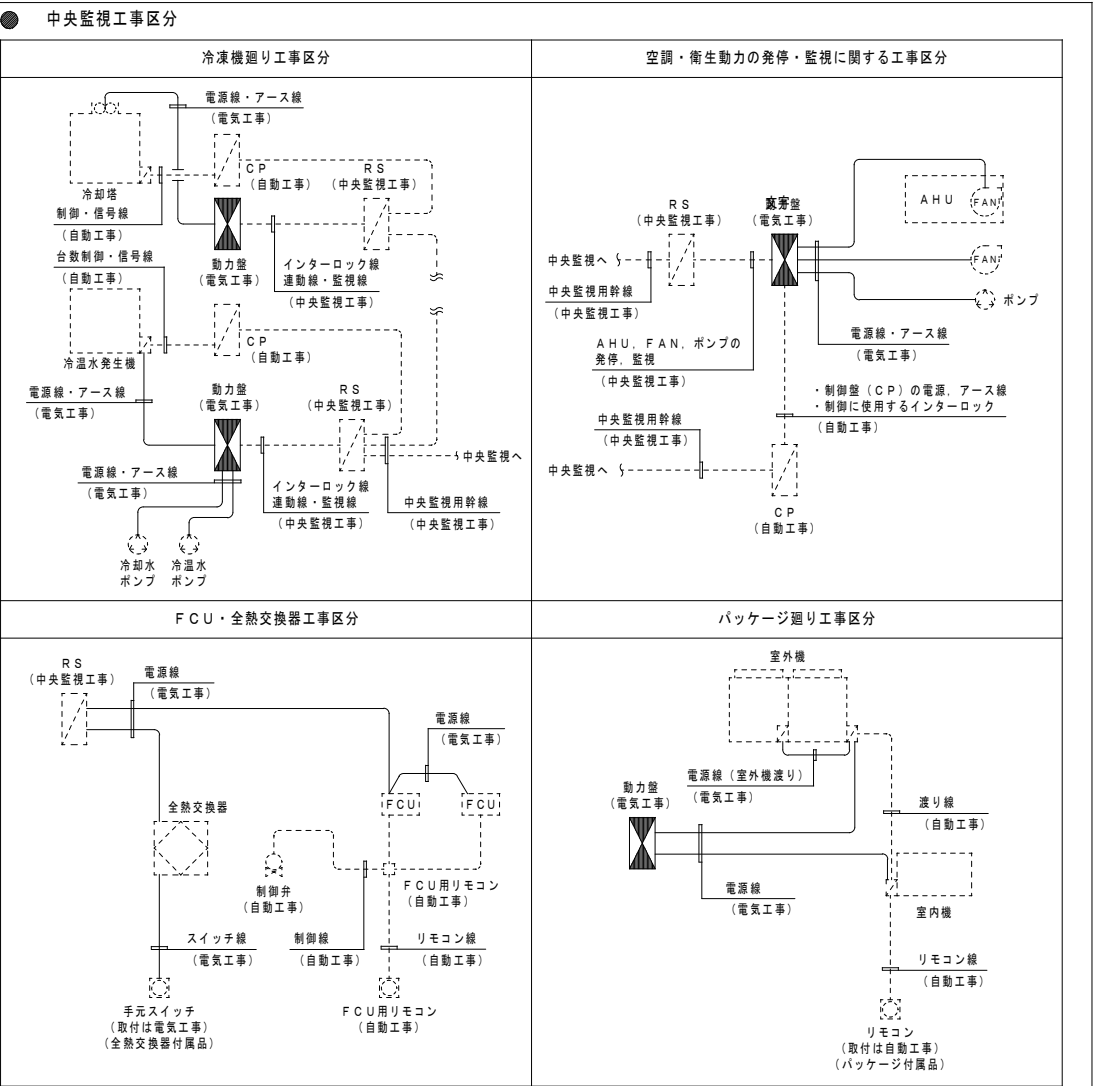
設備名称 形状 幹線番号 電気方式	主 開 閉 器 (結 線) 合 計 容 量 (kW)	負 荷		結 線 記 号			監 視 盤				配 線			備 考			
		負荷記号	負荷名称	容 量 (kW)	主回路	制御 回路	運動又は インター ロック	操作	表 示		計測	監視 回路	回路		配線サイズ	配管	
									状 態	故 障	警 報						
P-1 一般 種耐熱 埋込露出 自立壁掛 配付 庫なし 屋内 屋外 P101 3φ3W 200V CVT150'×2 E38'×2 <参照> ○ 標準品 ○ 指定品 ● その他 (別注) <基準> ● 建築工事 ○ 電気工事 (注) 400Vは200V×√3	MCB 3P 600AF/600AT 計103.2kW																
			暖房コンボイ①制御盤	34.40	AE225AF/175AT									1	CVT150'E14'	HIVE82	
			暖房コンボイ②制御盤	34.40	AE225AF/175AT									2	CVT150'E14'	HIVE82	
			暖房コンボイ③制御盤	34.40	AE225AF/175AT									3	CVT150'E14'	HIVE82	
			脱臭用ブロー	15.00	AE225AF/125AT									4	CVT 38'E 8'	HIVE54	
P-2 一般 種耐熱 埋込露出 自立壁掛 配付 庫なし 屋内 屋外 P102 3φ3W 200V CVT200' <参照> ○ 標準品 ○ 指定品 ● その他 (別注) <基準> ● 建築工事 ○ 電気工事 (注) 400Vは200V×√3	MCB 3P 400AF/300AT 計 52.85kW																
			ペレットマシーン制御盤	52.85	AE400AF/250AT									5	CVT150'E14'	HIVE70	
			排気ファンインバーター制御盤	5.50	AE 50AF/ 50AT									7	CVT 14'E 5.5'	HIVE36	
			動力コンセント	—, —	AE 50AF/ 30AT									8	CV5.5'—4C	HIVE28	
			予備	—, —	AE 50AF/ 50AT									7			
P-3 一般 種耐熱 埋込露出 自立壁掛 配付 庫なし 屋内 屋外 P103 3φ3W 200V CVT150' <参照> ○ 標準品 ○ 指定品 ● その他 (別注) <基準> ● 建築工事 ○ 電気工事 (注) 400Vは200V×√3	MCB 3P 225AF/200AT 計 23.07kW																
			自動袋詰め制御盤	10.85	AE225AF/100AT									8	CVT100'E 8'	HIVE54	
			パレタイザ制御盤	12.22	AE225AF/100AT									9	CVT100'E 8'	HIVE54	
			動力コンセント	—, —	AE 50AF/ 30AT									10	CV5.5'—4C	HIVE28	
			予備	—, —	AE 50AF/ 50AT									11			
P-4 一般 種耐熱 埋込露出 自立壁掛 配付 庫なし 屋内 屋外 P103 3φ3W 200V CVT 38' <参照> ○ 標準品 ○ 指定品 ● その他 (別注) <基準> ● 建築工事 ○ 電気工事 (注) 400Vは200V×√3	MCB 3P 100AF/75AT																
			送風ブロー制御盤	6.00	AE 50AF/ 40AT									12	CV8'—4C	HIVE28	
			予備	—, —	AE 50AF/ 15AT									13			
			予備	—, —	AE 50AF/ 15AT									14			
			予備	—, —	AE 50AF/ 15AT									15			

三相誘導電動機の分岐回路 (配線用遮断器の場合)													
定格出力 (kW)	200V					400V							
	全負荷電流 (A)	最小電線 (mm ²)	最大こう長 (m)	配線用遮断器 (A) LS 始動	Y-Δ 始動	全負荷電流 (A)	最小電線 (mm ²)	最大こう長 (m)	配線用遮断器 (A) LS 始動	Y-Δ 始動			
0.2	1.8	2	mm ²	144	15	—	—	—	—	—			
0.4	3.2	2	mm ²	81	15	—	—	—	—	—			
0.75	4.6	2	mm ²	56	15	—	—	—	—	—			
1.5	8.0	2	mm ²	32	30	—	—	—	—	—			
2.2	11.1	2	mm ²	23	40	—	—	—	—	—			
3.7	16.8	2	mm ²	15	60	—	—	—	—	—			
5.5	24.6	3.5	mm ²	18	75	60	12.3	2	mm ²	42	40	30	
7.5	34.0	5.5	mm ²	21	125	75	17.0	2	mm ²	30	60	40	
11.0	48.0	14	mm ²	38	125	125	24.0	3.5	mm ²	38	75	60	
15.0	64.0	14	mm ²	28	125	150	32.0	5.5	mm ²	44	100	75	
18.5	79.0	22	mm ²	36	150	175	39.5	8	mm ²	52	125	100	
22.0	92.0	22	mm ²	31	175	200	46.0	8	mm ²	45	125	100	
30.0	124.0	38	mm ²	40	225	300	62.0	14	mm ²	58	125	150	
37.0	152.0	60	mm ²	51	300	350	76.0	14	mm ²	48	150	175	
45.0	—	—	—	—	—	—	95.0	22	mm ²	60	175	225	
55.0	—	—	—	—	—	—	114.0	38	mm ²	86	225	250	
75.0	—	—	—	—	—	—	155.0	60	mm ²	100	300	350	

- 注 記
1. プレーカーの定格電流は上記表を参照する。
2. 制御電源電圧は200Vとする。
3. 電動機の過負荷保護はTHRY2Eとする。
4. 200V回路においてポンプ15kW以上、ファン11kW以上をY-Δ 始動とする。
5. 表示灯はLEDとする。
6. 汚水槽、雑排水槽はフロート (FS)。他はフロートレス (LF) スイッチとする。
7. 計器は一般型とする。

8. インバータ始動回路で、個別に高調波対策をする場合は下記とする。
● なし (対策別途) ○ DCリアクトル ○ 高効率コンバータ
9. JEAC8001-2016 内線規程反映
10. トップランナーモーター以外、またはトップランナーとトップランナー以外の電動機が混在する回路については、内線規程の別表を参考とする。

● 結線記号									
● 主回路									
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
電源送り (電流計なし)	電源送り (電流計あり)	直入起動	スターデルタ起動	交互運転	交互運転 (スターデルタ)	自動交互同時直入運転	自動交互同時スターデルタ運転	インバータ始動	インバータ始動 (スターデルタ)
MCCB	MCCB	MCCB	MCCB	MCCB	MCCB	MCCB	MCCB	MCCB	MCCB
ELCB	ELCB	ELCB	ELCB	ELCB	ELCB	ELCB	ELCB	ELCB	ELCB
● 制御回路									
1 手元	2 手元・遠方	3 手元・自動	4 試験・自動	5 自動 (液面リレー)	6 自動交互 (液面リレー)	7 自動交互同時 (液面リレー)	8 消火ポンプ	9 液面警報 (満減水)	
● 監視回路									
イ 発停状態警報 (又は切替)			ロ 発停状態警報			ハ 状態警報		ニ 計測 (温度)	ホ 計測 (電流等)



今福設備設計 福岡県福岡市早良区原3-6-5-702 TEL 092-776-1190 FAX 092-776-1190	一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-61618号	承認	構造	工事名 (株)ポーランド 糞処理施設新築工事	SIZE A2	NO. E-005
	一級建築士登録 第344237号	設計	製図		SCALE N.S.	DATE 2025.6
	今福 雄一					

壁名称
(形式)

電気方式
幹線番号

主開閉器
(結線)
合計容量

回路
番号

記号

負荷名称

負荷容量
(VA)

リモコン
番号

備考

壁名称
(形式)

電気方式
幹線番号

主開閉器
(結線)
合計容量

回路
番号

記号

負荷名称

負荷容量
(VA)

リモコン
番号

備考

壁名称
(形式)

電気方式
幹線番号

主開閉器
(結線)
合計容量

回路
番号

記号

負荷名称

負荷容量
(VA)

リモコン
番号

備考

L-1
(埋込処理)

一般種耐熱

埋込高出

自立壁掛

厚付

厚なし

壁内壁外

L101
163W
100V/200V
CVT14
E5.6"x2

<塗装>
○標準色
○指定色
●その他(耐塩)

<上部ダクト>
●無
○有(CH=-----)

<基礎>
○建築工事
○本工事
(W=---XD---XH---)

ELB3P
50AF/50AT

計 5.587VA

1

E2

ベレット包装ヤード 照明

796

2

E2

ベレット加工ヤード 照明

796

3

E2

通路・プロワ室・屋外 照明

465

4

E2

東側配管ヒーター・プロワ室コンセント

400

5

E2

南側配管ヒーター

1,600

6

E2

西側配管ヒーター

100

7

E2

ベレット暖色ヤード コンセント

700

8

E2

ベレット加工ヤード コンセント

700

9

E2

フレコン詰め計量器

30

10

E2

予備

壁名称
(形式)

電気方式
幹線番号

主開閉器
(結線)
合計容量

回路
番号

記号

負荷名称

負荷容量
(VA)

リモコン
番号

備考

壁名称
(形式)

電気方式
幹線番号

主開閉器
(結線)
合計容量

回路
番号

記号

負荷名称

負荷容量
(VA)

リモコン
番号

備考

壁名称
(形式)

電気方式
幹線番号

主開閉器
(結線)
合計容量

回路
番号

記号

負荷名称

負荷容量
(VA)

リモコン
番号

備考

壁名称
(形式)

電気方式
幹線番号

主開閉器
(結線)
合計容量

回路
番号

記号

負荷名称

負荷容量
(VA)

リモコン
番号

備考

壁名称
(形式)

電気方式
幹線番号

主開閉器
(結線)
合計容量

回路
番号

記号

負荷名称

負荷容量
(VA)

リモコン
番号

備考

壁名称
(形式)

電気方式
幹線番号

主開閉器
(結線)
合計容量

回路
番号

記号

負荷名称

負荷容量
(VA)

リモコン
番号

備考

壁名称
(形式)

電気方式
幹線番号

主開閉器
(結線)
合計容量

回路
番号

記号

負荷名称

負荷容量
(VA)

リモコン
番号

備考

壁名称
(形式)

電気方式
幹線番号

主開閉器
(結線)
合計容量

回路
番号

記号

負荷名称

負荷容量
(VA)

リモコン
番号

備考

壁名称
(形式)

電気方式
幹線番号

主開閉器
(結線)
合計容量

回路
番号

記号

負荷名称

負荷容量
(VA)

リモコン
番号

備考

壁名称
(形式)

電気方式
幹線番号

主開閉器
(結線)
合計容量

回路
番号

記号

負荷名称

負荷容量
(VA)

リモコン
番号

備考

壁名称
(形式)

電気方式
幹線番号

主開閉器
(結線)
合計容量

回路
番号

記号

負荷名称

負荷容量
(VA)

リモコン
番号

備考

壁名称
(形式)

電気方式
幹線番号

主開閉器
(結線)
合計容量

回路
番号

記号

負荷名称

負荷容量
(VA)

リモコン
番号

備考

壁名称
(形式)

電気方式
幹線番号

主開閉器
(結線)
合計容量

回路
番号

記号

負荷名称

負荷容量
(VA)

リモコン
番号

備考

壁名称
(形式)

電気方式
幹線番号

主開閉器
(結線)
合計容量

回路
番号

記号

負荷名称

負荷容量
(VA)

リモコン
番号

備考

壁名称
(形式)

電気方式
幹線番号

主開閉器
(結線)
合計容量

回路
番号

記号

負荷名称

負荷容量
(VA)

リモコン
番号

備考

壁名称
(形式)

電気方式
幹線番号

主開閉器
(結線)
合計容量

回路
番号

記号

負荷名称

負荷容量
(VA)

リモコン
番号

備考

壁名称
(形式)

電気方式
幹線番号

主開閉器
(結線)
合計容量

回路
番号

記号

負荷名称

負荷容量
(VA)

リモコン
番号

備考

壁名称
(形式)

電気方式
幹線番号

主開閉器
(結線)
合計容量

回路
番号

記号

負荷名称

負荷容量
(VA)

リモコン
番号

備考

壁名称
(形式)

電気方式
幹線番号

主開閉器
(結線)
合計容量

回路
番号

記号

負荷名称

負荷容量
(VA)

リモコン
番号

備考

壁名称
(形式)

電気方式
幹線番号

主開閉器
(結線)
合計容量

回路
番号

記号

負荷名称

負荷容量
(VA)

リモコン
番号

備考

壁名称
(形式)

電気方式
幹線番号

主開閉器
(結線)
合計容量

回路
番号

記号

負荷名称

負荷容量
(VA)

リモコン
番号

備考

壁名称
(形式)

電気方式
幹線番号

主開閉器
(結線)
合計容量

回路
番号

記号

負荷名称

負荷容量
(VA)

リモコン
番号

備考

壁名称
(形式)

電気方式
幹線番号

主開閉器
(結線)
合計容量

回路
番号

記号

負荷名称

負荷容量
(VA)

リモコン
番号

備考

壁名称
(形式)

電気方式
幹線番号

主開閉器
(結線)
合計容量

回路
番号

記号

負荷名称

負荷容量
(VA)

リモコン
番号

備考

壁名称
(形式)

電気方式
幹線番号

主開閉器
(結線)
合計容量

回路
番号

記号

負荷名称

負荷容量
(VA)

リモコン
番号

備考

壁名称
(形式)

電気方式
幹線番号

主開閉器
(結線)
合計容量

回路
番号

記号

負荷名称

負荷容量
(VA)

リモコン
番号

備考

壁名称
(形式)

電気方式
幹線番号

主開閉器
(結線)
合計容量

回路
番号

記号

負荷名称

負荷容量
(VA)

リモコン
番号

備考

壁名称
(形式)

電気方式
幹線番号

主開閉器
(結線)
合計容量

回路
番号

記号

負荷名称

負荷容量
(VA)

リモコン
番号

備考

壁名称
(形式)

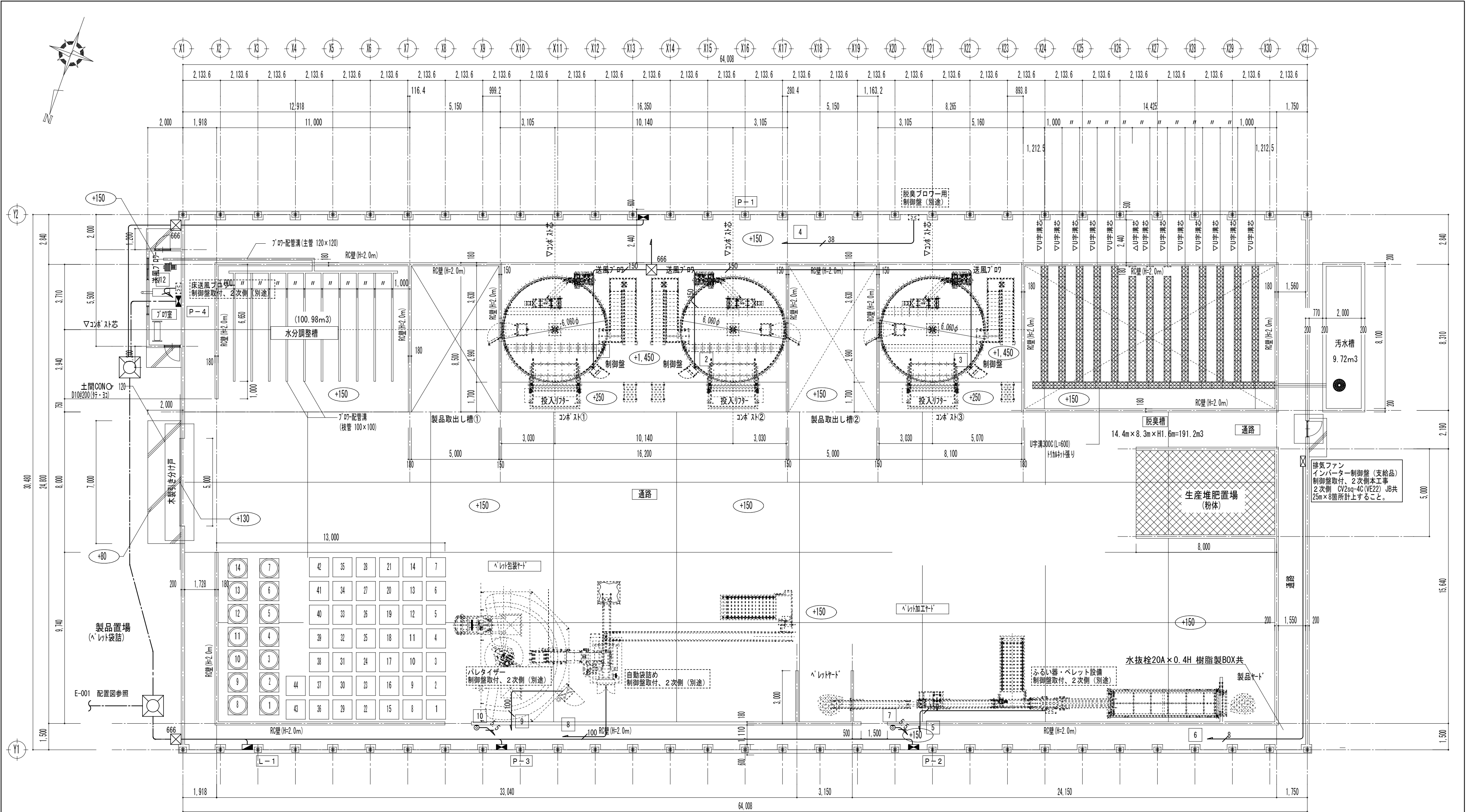
電気方式
幹線番号

主開閉器
(結線)
合計容量

回路
番号

<

	今福設備設計 福岡県福岡市早良区原3-6-5-702 TEL 092-776-1190 FAX 092-776-1190	一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-61618号	承認	構造		工事名 (株)ポーランド 糞処理施設新築工事	SIZE A 2	NO. E-006
		一級建築士登録 第344237号	設計	製図		図名 電灯配電盤図	SCALE N. S.	DATE 2025. 6
		今福 雄一						



低圧電灯盤					
NO	負荷名称	容量 (kW)	MCCB P AF/AT	電線サイズ	露出隠蔽保護管 埋設部保護管
L101	予備	5.97	3P 100/50	CVT14' E5.9' x2	HIVES4 FEP50
L102	予備	---	3P 100/100		HIVES4 FEP50
L103	予備	---	3P 100/50		HIVES4 FEP50

低圧動力盤					
NO	負荷名称	容量 (kW)	MCCB P AF/AT	電線サイズ	露出隠蔽保護管 埋設部保護管
P101	P-1	103.2	3P 600/600	CVT150' x2 E38' x2	HIVE70 FEP80x2
P102	P-2	67.85	3P 400/350	CVT200' E22' x2	VU100 FEP100
P103	P-3	23.07	3P 225/225	CVT150' E14' x2	HIVE70 FEP80
P104	P-4	6.0	3P 100/100	CVT 38' E8' x2	HIVES4 FEP50
P105	予備	---	3P 225/225		HIVES4 FEP80
P106	予備	---	3P 100/100		HIVES4 FEP50

器具凡例				
図記号	名称	仕様	備考	
□	ハンドホール	1,200×1,200×1,200	25t重耐蓋	
□666	耐食性ブルボックス	600×600×600	SUS防水かぶせ	
⊙	動力コンセント	接地3P30A	H=800	

配線凡例			
図記号	名称	保護管	備考
150	CVT150' E14'	VE82	
100	CVT100' E8'	VE70	
38	CVT38' E8'	VE54	
14	CVT14' E5.5'	VE36	
8	CV8' -4C	VE28	
5.5	CV5.5' -4C	VE28	

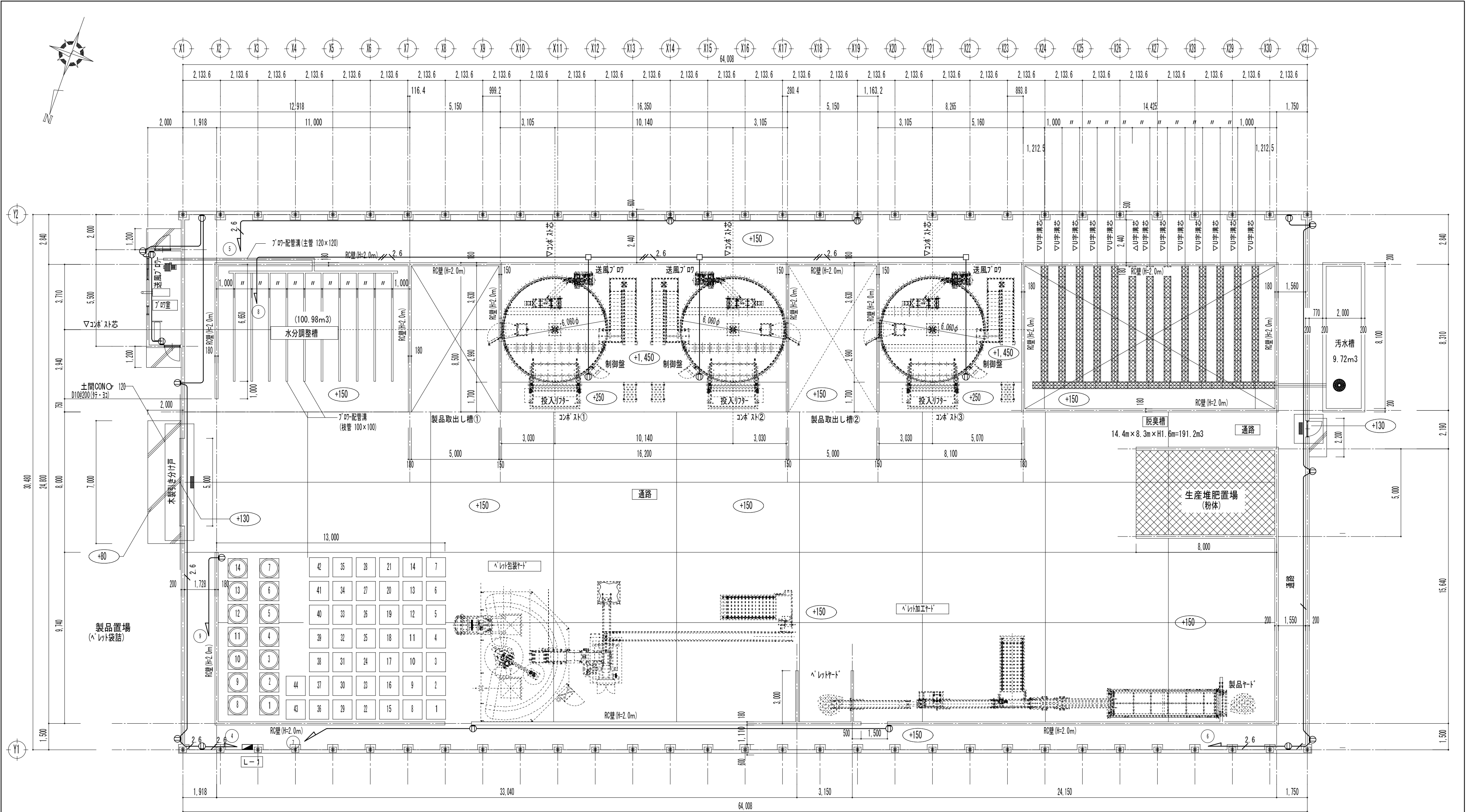
※ VE配管工事において熱膨張を考慮しカップリングは伸縮カップリングを使用すること。

堆肥舎 平面図 A2 1/150

凡例

±0 6Lからの仕上がり高さを示す

避難上有効な開口部を示す



器具凡例

図記号	名称	仕様	備考
①	防水コンセント	2P15A×2、E付	H=1,000

配線凡例

図記号	名称	保護管	備考
2.6	VVF2. 6-3C (1Cアース)	VE28	
	VVF2. 0-3C (1Cアース)	VE22	

※ V E配管工事において熱膨張を考慮しカップリングは伸縮カップリングを使用すること。

堆肥舎 平面図 A2 1/150

凡例

- ±0 GLからの仕上がり高さを示す
- 避難上有効な開口部を示す
- 消火器: 粉末ABC10型 場内計7本+Cub1本
- 誘導標識: 蓄光式 計2箇所

今福設備設計

福岡県福岡市早良区原3-6-5-702
TEL 092-776-1190
FAX 092-776-1190

一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-61618号

一級建築士登録 第344237号

今福 雄一

承認

設計

構造

製図

工事名 (株)ポーランド 糞処理施設新築工事

図名 コンセント・防災設備 平面図

SIZE

A2

NO.

E-009

SCALE

1:150

DATE

2025.6